

報道関係者各位

2022年10月27日
株式会社マーケットエンタープライズ

2022年7月～9月中古スマホ取引数ランキング

iPhone 14 シリーズ発売による中古市場への影響は？

主要4市場より抽出された中古スマホ相場データより分析

株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード3135)は、当社が運営するウェブメディア「iPhone 格安 SIM 通信」(<https://www.kashi-mo.com/media/>)にて提供している、フリマアプリやインターネットオークション等主要4市場を総括した中古スマートフォン相場比較サービスより抽出した中古スマホ取引データの分析を行いましたので発表します。

調査の詳細はこちら:<https://www.kashi-mo.com/media/162289>

■分析結果概要

1. iPhone SE(第2世代)・(第3世代)が急成長もトップ3は変わらず iPhone 8

2. iPadは顔ぶれ変わらず ユーザーは安さと機能性を重視

3. Androidの顔ぶれ一新 新たに6機種がランクイン

【総評】新機種発売による影響は？

1 iPhone SE(第2世代)・(第3世代)が急成長もトップ3は変わらず iPhone 8

2022年7月～9月中古iPhone端末ランキング

©iPhone格安SIM通信

順位		機種・モデル	ストレージ容量	通信キャリア	平均価格(税込)	平均価格(前期比)	中央値(税込)	中央値(前期比)
1位	→	iPhone 8	64GB	NTTドコモ	14,775円	912円	14,200円	895円
2位	↑	iPhone 8	64GB	ソフトバンク	15,187円	1,008円	14,800円	1,300円
3位	↓	iPhone 8	64GB	au	15,311円	901円	14,410円	410円
4位	↑	iPhone SE(第2世代)	64GB	au	24,518円	-461円	23,800円	-925円
5位	↑	iPhone SE(第2世代)	64GB	ソフトバンク	24,158円	112円	23,900円	-100円
6位	NEW	iPhone SE(第3世代)	64GB	NTTドコモ	42,652円	0円	41,800円	0円
7位	→	iPhone 7	32GB	au	9,332円	681円	8,500円	445円
8位	NEW	iPhone SE(第2世代)	64GB	SIMフリー版	22,300円	0円	22,000円	0円
9位	NEW	iPhone SE(第3世代)	64GB	au	41,628円	0円	41,000円	0円
10位	NEW	iPhone 7	128GB	ソフトバンク	10,225円	0円	9,500円	0円

【報道関係者からのお問合せ先】

株式会社マーケットエンタープライズ 広報

担当:立花、柏木

Tel: 03-6675-3923 Mail: pr@marketenterprise.co.jp

iPhone 全体の中古取引数は、前回の調査(2022年4月～6月)と比べ12.1%減少しました。ランキングでは、前回同様、iPhone 8が上位3位を独占しました。一方、大きく順位を上げたのが、iPhone SE(第2世代)・iPhone SE(第3世代)です。iPhone SE(第2世代)躍進の理由は、2022年7月のApple製品一斉値上げが影響したと推察しています。iPhone SE(第2世代)は、2020年発売と比較的新しい端末ながら、20,000円台という安価で手に入れられることから、機種変更を検討していたユーザーが新品ではなく、中古端末にシフトしたと見て良いでしょう。一方のiPhone SE(第3世代)は、一部の家電量販店で実施されたキャリア版iPhoneセールによる買い替えにより、大幅に取引数が伸びたと見えています。また、Appleの開発者会議「WWDC 2022」でサポート終了が発表されたiPhone 7は、前回調査に引き続きランクインしているものの、iOS 16アップデートの対象外となるため、今後の需要は減っていくでしょう。

2 iPadは顔ぶれ変わらず ユーザーは安さと機能性を重視

2022年7月～9月中古iPad端末ランキング

©iPhone格安SIM通信

順位		機種・モデル	ストレージ容量	通信キャリア	平均価格(税込)	平均価格(前期比)	中央値(税込)	中央値(前期比)
1位	↑	iPad(第6世代)	32GB	au	22,038円	-2,007円	20,800円	-3,000円
2位	→	iPad mini4	16GB	NTTドコモ	15,829円	-603円	15,345円	-1,205円
3位	↑	iPad mini4	128GB	au	22,070円	-176円	20,845円	-1,045円
4位	↓	iPad(第5世代)	32GB	NTTドコモ	19,854円	1,284円	19,278円	2,478円
4位	↓	iPad(第5世代)	32GB	au	18,464円	-26円	17,600円	-900円
6位	↑	iPad mini4	16GB	au	16,322円	167円	15,345円	-655円
6位	→	iPad(第6世代)	32GB	NTTドコモ	23,871円	-1,038円	23,648円	-1,352円
8位	↑	iPad Air2	16GB	au	14,939円	458円	15,209円	359円
9位	NEW	iPad mini4	128GB	NTTドコモ	21,841円	0円	21,350円	0円
10位	NEW	iPad(第6世代)	32GB	ソフトバンク	22,942円	0円	23,480円	0円

前回の調査(2022年4月～6月)では、取引数が増加したiPadでしたが、今回の調査では13.4%減少となりました。トップ10の顔ぶれに大きな変化はなく、iPad mini4、iPad(第5世代)、iPad(第6世代)を中心に取引がされています。iPad mini4は、2015年発売モデルながらも、サポート対象となっており、16GBでは15,000円前後で購入が可能です。iPad(第5世代)やiPad(第6世代)は、サポート対象でありながら、発売当初の半額程度まで価格が下がっています。安さと機能性を求めるユーザーから支持された端末の取引が目立つ結果となりました。

3 Androidの顔ぶれ一新 新たに6機種がランクイン

Androidに関する詳しい解説は、こちらをご覧ください。: <https://www.kashi-mo.com/media/162289>

■分析:中古モバイル市場アナリスト 菅野辰則

2022年7月1日、AppleがiPhoneの価格改定を発表し、値上げが行われました。中古市場でも同様に取引価格が上昇していくと予想していましたが、今回の調査では特に大きな動きは見られませんでした。要因の一つとしては、9月に発売されたiPhone 14シリーズの売れ行きが芳しくなかったことが影響していると見えています。例年、新シリーズ発売のタイミングでは、機種変更をするユーザーが多く見られますが、新シリーズ発売による機種変更の動きが活発では無かったため、取引数そのものの減少に繋がったと言えるでしょう。例年、新シリーズ発表後は、機種変更需要が継続し、取引数が増加する傾向がありますが、今回に関しては、取引数は引き続き減少していくと見えています。一方、iPadは、10月26日に新シリーズのキャリア発売があるため、今後の取引数に影響していく可能性があります。特にiPad(第10世代)は、前モデルからの複数の仕様変更がある為、買い替えによる取引数増加が見られるでしょう。

調査の詳細はこちら:<https://www.kashi-mo.com/media/162289>

株式会社マーケットエンタープライズ マーケティングディビジョン 執行役員 菅野 辰則

ソフトウェア開発会社にて、開発業務からスタートし、新会社設立時のWebマーケティング全般の業務を担った後、2010年にマーケットエンタープライズに入社。当社でWebマーケティングの責任者や経営企画を担当後、現在は、デジタルマーケティング事業の責任者に従事する。膨大なデータの分析・管理能力を活かして、中古モバイル市場の動向を分析する中古モバイル市場アナリストも兼任する。



■調査概要

調査方法:株式会社マーケットエンタープライズが運営するウェブメディア「iPhone 格安 SIM 通信」で提供している中古スマートフォン相場比較サービスを通じて集積されたデータベースより抽出した中古スマートフォンの取引数・価格を集計

調査対象期間:2022年7月1日から2022年9月30日

調査対象市場:ヤフオク!、ムスビー、メルカリ、ラクマ

■運営メディア

iPhone・Wi-Fi・WiMAX の情報をわかりやすく解説

・iPhone 格安 SIM 通信: <https://www.kashi-mo.com/media/>

ガジェット・通信ニュース情報をわかりやすく解説

・iPhone 格安 SIM 通信 YouTube チャンネル: <https://www.youtube.com/channel/UCakZHegYrdh-Y3EasvGf7bw>

格安 SIM・スマホの通信速度や選び方を解説

・SIM チェンジ: <https://simchange.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ580万人を達成しました。

ウェブサイト: <https://www.marketenterprise.co.jp/>